◎文化財一覧（令和８年５月１日現在）
【国指定・登録】

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
重要文化財	土偶（輪西遺跡）	東京国立博物館	国	S37.６.21	縄文時代晩期の土偶。中空で高さ 19.2 センチ。ほぼ完全な形態とみられる。
	旧三戸部家住宅	伊達市梅本町 61 番地２	伊達市	S46.12.28	明治初期の移住時につくられた住宅で、開拓農家として現存する最古のものである。
	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市梅本町 57 番地１ だて歴史文化ミュージアム	国	H16.６.８	続縄文時代の墓壙内に副葬された骨角牙貝製品の一括。銛頭や釣針等の漁撈用具、頭部を熊の彫刻で飾る匙形製品、幾何学文が彫られた槍先形製品、小型の巻貝を素材とした装身具等、多彩な内容で構成される。これらは、続縄文時代の葬送儀礼を考える上で欠かせない資料であると共に、骨角牙貝製品の製作技術や造形の特色を知るうえで極めて貴重である。
	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市梅本町 57 番地１ だて歴史文化ミュージアム	伊達市	H16.６.８	縄文時代晩期から続縄文時代の墓地遺跡からの出土品一括。副葬品として墓壙内に納められた骨角牙貝製品、土製品、石製品で構成される。銛頭や釣針等の漁撈用具、幾何学文が彫られた槍先形製品、南海産の貝類を素材とした貝輪等、多彩な内容で構成され、葬送儀礼や交易を考えるうえで欠かせない資料である。
	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市有珠町 124 善光寺	善光寺	H17.６.９	江戸幕府が文化元(1804)年に東蝦夷地三々所に新建した蝦夷三官寺の一つ。三官寺は蝦夷地で死亡した武士、商人等の供養及び邪宗門禁制を設立の主目的としているが、アイヌの人々に対する仏教布教もその視野にあった。蝦夷地における仏教史研究のみならず、アイヌ史研究においても重要な資料群である。
重要無形民俗文化財	アイヌ古式舞踊	白老町大町６丁目３-22	白老民族芸能保存会	S59.１.21	アイヌ民族の古式舞踊。イオマンテリムセ（熊の霊送りの踊り）やエムシリムセ（剣の舞）等の 14 の舞踊が伝承、公開されている。
		むかわ町末広２丁目 84-6 鵡川中央生活館	鵡川アイヌ文化伝承保存会	S59.１.21	アイヌ民族の古式舞踊。女性の演者を中心とする舞踊が多く、フッサヘロ（病魔払いの踊り）は鵡川地方に伝わる代表的な舞踊。
史跡	入江・高砂貝塚	洞爺湖町入江 190、洞爺湖町高砂町 61 ほか	洞爺湖町	S63.５.13 H14.３.19 H14.12.19 H23.９.21	２つの地点からなる遺跡。入江貝塚は縄文時代前期・後期、高砂貝塚は縄文時代後期・晩期の貝塚を中心として、近世に至るまでの生活の痕跡が残る遺跡である。
	白老仙台藩陣屋跡	白老町陣屋町 681 ほか	白老町ほか	S41.３.３ S51.７.８ H７.11.８	安政２(1855)年の幕府の命によって仙台藩が築いた陣屋の跡。同藩は白老を拠点に、国後・択捉までの太平洋岸一帯を警衛した。
	東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡同台場、勤番所跡	室蘭市陣屋町２丁目５-１ほか、同市崎守町 186 ほか	室蘭市	S９.５.１ S49.８.22	安政２(1855)年の幕府の命によって南部藩が築いた出張陣屋の跡。同藩は函館を拠点に、幌別までの太平洋岸一帯を警衛した。
	静川遺跡	苫小牧市字静川 93-７～11	㈱苫東	S62.１.８	縄文時代中期の環壕が全国で初めて発見され、縄文社会を支えた精神性や文化力を知るうえで重要な遺跡である。
	善光寺跡	伊達市有珠町 124	善光寺	S49.５.23	文化元(1804)年、幕府の官寺として建立。江戸時代後期の貴重な資料が数多く残されている。
	北黄金貝塚	伊達市北黄金町 75-１	伊達市	S62.12.25 H８.６.27 H25.10.17	縄文時代前期を中心とした貝塚遺跡で、全国の貝塚遺跡群の中で最大級のものである。

区　分	名　　称	所在地	所有者	指定年月日	概　　要
名　勝	ピリカノカ カムイチャシ、 ピリカノカ 絵鞆半島外海岸	豊浦町 室蘭市	国 室蘭市ほか	H23．２．７ H24．１.24	カムイチャシは噴火湾に突き出た茶津崎の先端に位置し、柄鞆半島の外側海岸には、ハルカラモイ等のアイヌ語の地名と、その由来となった雄大な地形が残る。アイヌ語の「ピリカノカ」（美しい・形）と総称するに相応しい景勝地群である。
特　別 天　然 記念物	昭和新山	壮瞥町字昭和新山	個人	S26．６．９ S32．６.19 S35．４.16	昭和 18 年 12 月の地震から生成をはじめ、昭和 20 年９月に最高点 407 メートルに達して、その活動を休止した。学術的、そして教育的観点からみて世界的に貴重なものである。
天　然 記念物	登別原始林	登別市登別温泉町	国 登別市	T13.12．９ S34．５.29 S59．９.17	北海道中帯南部の植物区系を代表する貴重な天然林である。指定区域の中には、地獄谷、大湯沼等の温泉湧出地がある。
登　録 有　形 文化財	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市海岸町１−５−１	室蘭市	H11．７．８	明治 45(1912)年に室蘭本線の終着駅として建築。木造２階建の駅舎。現存する道内最古の木造駅舎である。
	北海道大学苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市字高丘	北海道大学	H12．４.28	昭和 10(1935)年に標本貯蔵室として建築。木造平屋建の教会堂風建築の背後に、駒形屋根の牧畜舎風建築を配する。
	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町穂別458	むかわ町	H13．８.28	穂別村開拓の先駆者の邸宅。片入母屋造平屋建の主屋と切妻造２階建の洋館、主屋右手後方の附属屋からなる北海道内陸部における大正期建築物である。
	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町穂別富内 81−１	むかわ町	H13．８.28	切妻造平屋建の大正期の標準的な駅舎。改札左手に転轍機操作所を張り出す点に特徴がある。
	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム		むかわ町	H13．８.28	駅本屋背面に延びる石積２段のプラットフォーム。長さ 75 メートル程で両端部を斜路とする。
	旧国鉄冨内線富内駅構内線路		むかわ町	H13．８.28	北海道鉱業鉄道株式会社が発注した外国製レールや日本製レールが複線で保存されている。

【 道　指　定 】

区　分	名　　称	所在地	所有者	指定年月日	概　　要
有　形 文化財	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町入江105 先	洞爺湖町	H４．３.31	文化２(1805)年に北海道初の官営牧場「有珠・虻田牧場」開設を記念して建立された。
	アイヌ丸木舟及び推進具	苫小牧市末広町３−９−７　苫小牧市美術博物館	苫小牧市	S42．６.22	河川用３艘と海漁用２艘及び櫂・棹等の推進具。約 770 年前の鎌倉時代末から室町時代初期のものと推定されている。
	釈迦如来立像	伊達市有珠町124　善光寺	善光寺	S34．２.24	高さ 162.1 センチ。京都市嵯峨清涼寺の釈迦如来立像の伝模作である。
	円空作聖観音像	伊達市有珠町124　善光寺	善光寺	S52．３.11	台座を含む高さ 56.7 センチ。寛文６(1666)年に来道したといわれる円空が作ったものである。
	入江貝塚出土品	洞爺湖町高砂町44　入江・高砂貝塚館	洞爺湖町	H26．３.31	縄文時代の骨角牙貝製品で、銛頭・釣針などの漁撈具のほか、猪牙製や南海産貝製の装飾品等出土例が少ないものもある。
史　跡	鵡川盛土墳墓群	むかわ町字汐見	むかわ町	S41．７．７	円形で、墳墓内に数個の墓穴が見られる。続縄文文化期のものである。
	開拓史三角測量勇払基点	苫小牧市勇払132-49	苫小牧市	S42．３.17	北海道開拓史が明治６(1873)年に設置した基点。北海道における最初の三角測量の基点跡である。
天　然 記念物	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市字樽前	国	S42．３.17	明治 42(1909)年の噴火によって、粘性の大きな溶岩が火口内からあふれることなく、円頂丘状に盛り上がって生成された。
	ホベツアラキリュウ化石	むかわ町穂別80−６　むかわ町立穂別博物館	むかわ町	H29．９.29	昭和５０年に旧穂別町字長和地内で発掘され、発見者の名前から「ホベツアラキリュウ」と命名された。約８千万年前の中生代白亜紀後期の海に生息し、日本で最初に古生物学的記載がなされた長頸竜で学術的に価値が高い地質鉱物である。

いぶりの文化・教育

▼▲▼

胆振では、自らの可能性を求め、心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、学校・家庭・地域が連携を強化し、確かな学力や豊かな人間性、健やかな体などの「生きる力」を育む教育を推進するとともに、胆振の教育資源を生かした学びの環境づくりの推進に努めています。

学校教育

- 幼児教育施設と小学校の連携を通して子どもの発達と学びの連続性を確保するため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、架け橋期のカリキュラムの作成や幼児期から児童期への発達の流れを意識した教育活動を進めています。
- 小・中学校では、地域や学校全体で焦点化した取組を進め、「好き」を育み「得意」を伸ばす授業づくりと自律した学習者を育てる主体的・対話的で深い学びの実現を重視しながら、今求められている学習者の思考を深める学習過程の工夫や学びをつなぐ振り返りの充実を図ることで、子どもたちに必要な資質・能力を育成する教育活動を推進しています。
- 高等学校では、特色ある教育課程の編成・実施に努めるとともに、総合学科、普通科単位制高校、中高一貫教育などの多様なタイプの学校の設置や、地域連携特例校・地域連携協力校の実施による教育環境の充実を図るなど、生徒たちの多様な学習ニーズへの対応やきめ細かな指導を進めています。

  また、「地域医療を支える人づくりプロジェクト」により、将来における本道の地域医療を支える人材の育成を行うことや「ＢＲＩＤＧＥ構築事業」により、生徒一人一人が協働性、社会貢献意識、自己肯定感を高めて自己実現できるよう、教科等横断的な視点で探究的な学習を充実させ、将来の北海道を担う人材育成を行っています。
- 令和８年３月高卒者の進路状況は、進学希望者数は、71.1%（前年比＋1.0 ポイント）で、全道平均（79.0%）を 7.9 ポイント下回っており、就職希望者数は 28.2%（前年比－0.9 ポイント）で全道平均（20.1%）を 8.1 ポイント上回っています。

社会教育

- 住民の多様な学習要求に的確に対応して、様々な学習機会の提供に努めるとともに、地域の自然環境や人材などの特性を生かした生涯学習活動のより一層の推進に取り組んでいます。
- 家庭や地域における様々な課題に対し、地域住民や企業等の参画及び協力により、家庭や地域の教育力の向上に努めています。
- 社会教育振興のための基盤整備として、社会教育指導者等の育成及び公民館や博物館、図書館等の活用を図りながら、生涯各期における学習機会の提供・充実に努めています。

◎幼稚園

区 分	園数(園)	園児数（名）
公　立	０	０
私　立	２２	１，６７９
合　計	２２	１，６７９

（Ｒ８．５．１現在）

◎中等教育学校

区 分	学校数(校)	生　徒　数　（名）	
		前期課程	後期課程
道 立	１	２１０	１９２

（Ｒ８．５．１現在）

◎特別支援学校（特別支援学校、ろう学校）

学校数（校）	生徒数(名)
４	３７２

（Ｒ８．５．１現在）

◎専修学校・各種学校

学校数（校）	生徒数(名)
９ （内１休校）	１，２５７

（Ｒ８．５．１現在）

◎大学・短期大学

区分	学　校　名	区分	学生数(名)
国立	室蘭工業大学	昼間	２，５０８
		夜間	１８５
		大学院	５８４
		計	３，２７７
私立	北洋大学	—	１２６

◎小中学校　（Ｒ８．５．１現在、（ ）は特別支援学級で内数）

	区　分	学校数(校)	児童・生徒数（名）
小学校	公　立	５８	１４，０８８ （１，１１５）
	私　立	１	９３（０）
	合　計	５９	１４，１８１ （１，１１５）
中学校	公　立	３９	７，８４３（５０４）
	私　立	１	３７（０）
	合　計	４０	８，０７６ （４８６）
義務教育学校	公　立	４	６０２（７５）

◎高等学校

区　分	学校数(校)	生徒数(名)
道　立	１７	５，５５２
市町村立	１	５２
私　立	５	１，８２４
合　計	２３	７，４２８

（Ｒ８．５．１現在）

◎高等学校卒業者の動き

区　分	胆　振	全　道
卒業者（名）	１，９３４	２４，８２１
大学等・専修学校 希望者（名）	１，３７６ （７１．１%）	１９，５９９ （７９．０%）
就職者（名）	５４５ （２８．２%）	４，９９０ （２０．１%）
進路未決定者(名)	１３ （０．７%）	２３２ （０．９%）

令和８年３月末現在卒業者（定時制を含む）
胆振教育局調べ　（　）は卒業者に占める割合